

標準委員会 システム安全専門部会 統合的安全性向上分科会
第 20 回統合的安全性向上分科会議事録

1. 日 時 2018 年 11 月 14 日 (水) 13:30~16:00

2. 場 所 JANSI (三田ベルジュビル 13 階) B 会議室

3. 出席者 (敬称略)

(出席委員) 成宮主査 (原安進), 上野副主査 (三菱総研), 倉本幹事 (NEL),
石崎委員 (東電 HD), 伊藤委員 (中部電), 合田委員 (関電),
佐々木委員 (関電), 笹委員 (原電), 鈴木委員 (原安進),
曾根田委員 (日立 GE), 高橋委員 (MHI), 平川委員 (元原安進),
三村委員 (東芝 ESS), 村上委員 (長岡技科大)

(14 名)

(常時参加者) 野中 (九州: 江藤代理), 鎌田 (原安進), 小林 (北海道),
鈴木 (中部電), 白井 (電中研), 野崎 (GNESC), 野村 (関電),
小川 (電源開発: 松田代理), 山中 (原電)

(9 名)

(傍聴者) なし

4. 配布資料

S3SC20-1 第 19 回統合的安全性向上分科会議事録 (案)

S3SC20-2 IRIDM 実施基準案 (2018/11/14 版)

S3SC20-3-1 IRIDM 実施基準案に対する標準委員会決議投票時のコメントへの対応結
果 (案)

S3SC20-3-2 IRIDM 実施基準案に対するリスク専門部会コメントへの対応結果 (案)

S3SC20-4 IRIDM 実施基準案 引用文献及び転載許諾リスト

S3SC20-5 PSR2009 標準の扱いについて

S3SC20-6 検討スケジュール

参考資料:

S3SC20-参考 1 統合的安全性向上分科会 委員名簿

S3SC20-参考 2 継続的安全性向上にかかる原子力学会標準の今後のあり方について

5. 議事内容

倉本幹事より, 議事に先立ち, 代理委員を含めて委員 17 名中 14 名が出席しており,
分科会成立に必要な定足数を満足している旨が報告された。

(1) 資料確認, 前回議事録の確認 (S3SC20-1)

議事次第に基づき, 配布資料の確認を行った。

また, 第 19 回分科会議事録 (案) の確認を行った。特に異議なく, この内容で正式な議事録とすることが承認された。

(2) IRIDM 実施基準案の標準委員会決議投票時コメント, 及びリスク専門部会コメントへの対応の議論 (S3SC20-2, S3SC20-3-1, S3SC20-3-2)

倉本幹事より, 各資料を用いて, IRIDM 実施基準案の標準委員会決議投票で挙げられたコメント, 及びリスク専門部会コメントへの対応方針及び実施基準修正案が説明され, 対応内容の確認及び審議を行った。

主な議論を以下に示す。

- ✓ (資料 S3SC20-2 No.5) 対応内容は基本的に問題ないものと了承されたが, 附属書 N (参考) の P105 の最後の文章の冒頭にある“同様に”という記載は, 何と何を同様であると言っているのかは不明瞭であり, 「また」という記載に修正する。
- ✓ 図 N.1 の参考文献番号が誤りであり修正する。また, 図 N.1 のタイトルは, 元文献の転載図に従い, 記載する様に修正し, 元文献のどの図を転載したかも注記として記載する。
- ✓ (資料 S3SC20-2 No.16) 解説 18 の最後のパラグラフにおいて, “標準委員会全体での”という記載は誤解をうむ表現であると議論があり, “標準委員会としての”という記載に修正する。
- ✓ またこの LERF/LRF への取組みに関し, 標準委員会としての大きな課題ととらえて検討をしていくというステートメントを記載している点は, 専門部会, 標準委員会での報告においても, 重要な修正点として強調し説明していく様にすべきであると議論があり, その様にしていくことを確認した。
- ✓ 編集上の気付き点として, 目次の章番号の後の . (ポツ) は要らないとのコメントがあり, 削除する様に修正する。
- ✓ 本体の章節を呼び込む記載として, IRIDM 実施ステップのタイトルになっている場合 (7.2,7.3 など) 節番号に加えタイトルも記載して, それより下層の節番号の場合 (7.2.1 など) には節番号としている考えで統一していることを確認した。この記載につき, 標準記載ガイドラインでのルールを確認した上で, 全て節番号にするかどうかにつき, 必要に応じて対応する。
- ✓ 接続詞の記載として, “及び”や“又は”の後に, (カンマ) を入れている箇所が散見されるが, JIS 記載として不適切であり, 全体的に確認をして修正する。
- ✓ 実施基準案 3 章の用語の定義の英語記載については, 全て小文字とすることで統一される方向なので, この標準でもそのように修正する。
- ✓ 本日の審議に加えて, 実施基準案全体を確認し, 追加の気付き, コメントがあれば, 11 月 20 日中期限で, 倉本幹事宛に連絡をする。

(3) IRIDM 実施基準案の引用文献の確認及び転載許諾の可否検討の状況 (S3SC20-4)

倉本幹事より、資料 S3SC20-4 を用いて、IRIDM 実施基準案の引用文献の確認及び転載許諾の可否検討の現状が説明され、確認及び審議を行った。

主な議論を以下に示す。

- ✓ 引用文献単位での整理に加えて、実施基準案での図表毎で引用文献のどの図表を転載等しているかの整理も要るので、それが把握できるようなフォーマットにしたものに変更した上で、作業を続ける。
- ✓ 資料 S3SC20-4 中の文献 No.91,92 は、元文献が入手できておらず、確認を取った上で記載の適切性の確認をとる。
- ✓ 資料 S3SC20-4 中の文献 No.22 に関して、元文献から「①単純に参照しているのみ(転載無し)」としている記載が適切でなく、また、実施基準案(S3SC20-2 P.91)のタイトルに記載がある“一部抜粋”というのも正確な表現ではない。他の箇所も含めて、適切な表現に修正を行うようにする。
- ✓ 本日の審議に加えて、実施基準案と合わせて全体を確認し、追加の気付き、コメントがあれば、11月20日中期限で、倉本幹事宛に連絡をする。

(4) PSR2009 標準扱い等の議論 (S3SC20-5, S3SC20-参考2)

倉本幹事より、各資料を用いて、PSR・安全評価の在り方の検討を含めた PSR2009 標準の扱いに関する方向性につき説明され、審議を行った。

主な議論を以下に示す。

- ✓ 資料 S3SC20-5 における、検討の方針 4)の専門部会・標準委員会への方針報告目途は誤記であり、2019年3月期を目指すと修正を行う。
- ✓ 単純に廃止をおしまいでは済まず、この機会に PSR そのものをどのように考えるのかにつき、事業者、規制、標準委員会がしっかり考えた上で、方向性を出す様にする必要があるであろう。
- ✓ 今の断面で問題ないから廃止ということではなく、今後の安全評価を含めてどうするのか問題が無いのかの議論、検討を含めた方向性が要ることであろう。
- ✓ 規制とどのような形で議論をするのかは課題で、よく考える必要がある。
- ✓ 標準委員会としては、安全性向上評価の問題点もふまえた上で、理想且つプラクティカルなことを提案していく必要があるであろう。
- ✓ 本件については、標準委員会 原子力安全検討会においても、議論をしていく様にしてはどうか。
- ✓ 資料 S3SC20-5 の資料に本日の審議をふまえて修正をしたものを、11/28 のシステム安全専門部会への報告資料とする。資料のタイトルは、“標準に係る今後の方針について”として、説明の順序、構成としては、1. 標準委員会への報告、結果、2. それを受けた検討、提案 とする。
- ✓ PSR2009 標準の扱いに関する方向性の説明資料に関して、本日の審議に加えて、

追加の気付き，コメントがあれば，倉本幹事宛に連絡をする。

- ✓ PSR+指針に係る技術レポートについても，11/28 システム安全専門部会にて経過報告を考えている。専門部会前には，報告内容につき，分科会にもメールにて共有をする。

(5) 今後の予定，その他 (S3SC20-6)

倉本幹事より，今後の検討スケジュールについて説明があった。

次回の分科会（第21回）開催については，2019年2月4日，5日，6日を候補日として，本日欠席の委員の方の予定も確認した上で決定することとした。

以 上